

令和5年度ブナ豊凶結果について

1 ブナの調査目的

野生動物の生息動向に影響を与えると考えられるブナの豊凶を調査することにより、森林生態系への影響や異変を察知し、その原因を解明します。

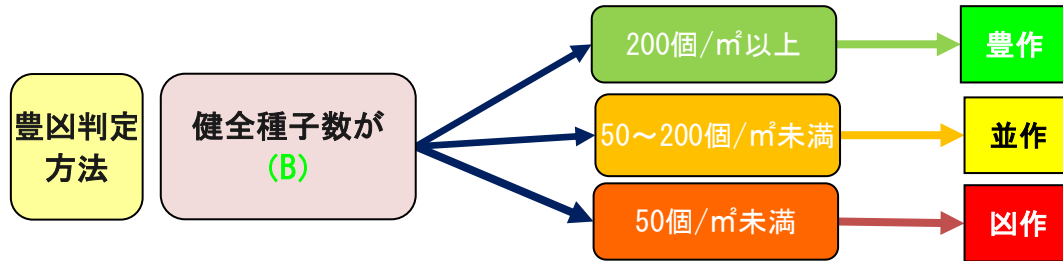
2 調査方法及び調査時期

県内16カ所のブナの調査地にトラップ(面積約1㎡の円形ネット)を設置し、それに落下した雄花の数(4月末~6月)から豊凶を予測します。さらにそのトラップを継続して使用し、11月まで落下した健全種子の数から豊凶を判定します。

※1 葉山は種子の結果のみです。

3 ブナの豊凶基準及び結果

トラップ(5個:a、10個:b)に落下した種子を判別して、健全種子数が200個/㎡以上の場合を豊作、50~200個/㎡未満の場合を並作、50個/㎡未満の場合を凶作としています。豊凶基準は、これまで行われた調査・研究を基に作成しています。



調査地番号	調査箇所	落下種子数(個/㎡)				豊凶結果		予測
		健全種子数 (B)	未成熟・シイナ種子数	虫害種子数	合計(確認種子数)	$(B) \geq 200$	$50 \leq (B) < 200$	
1	湯の台(a)	0.0	0.0	0.0	0.0	凶作	凶作	
2	羽黒山(a)	0.0	4.0	0.2	4.2	凶作	凶作	
3	関川(a)	0.2	0.0	1.2	1.4	凶作	凶作	
4	沼の台(a)	0.0	0.0	0.0	0.0	凶作	凶作	
5	西小俣(b)	0.0	0.0	0.7	0.7	凶作	凶作	
6	与蔵峠(b)	0.0	0.0	0.7	0.7	凶作	凶作	
7	鍋越峠(b)	0.0	1.8	9.8	11.6	凶作	凶作	
8	弓張平(b)	0.0	0.0	19.1	19.1	凶作	凶作	
9	入田沢(a)	0.0	0.0	24.0	24.0	凶作	凶作	
10	月山自然博物館(a)	0.0	0.0	0.0	0.0	凶作	凶作	
11	花立峠(a)	0.0	0.0	0.8	0.8	凶作	凶作	
12	黒伏(b)	0.0	0.0	2.1	2.1	凶作	凶作	
13	蔵王(鳥兜)(a)	0.0	0.0	0.0	0.0	凶作	凶作	
14	駒立(a)	—	—	—	—	判定できず ^{※2}	※2	
15	徳網(a)	0.0	0.8	5.2	6.0	凶作	凶作	
16	葉山(村山)(b) ^{*1}	0.0	0.0	0.0	0.0	凶作	—	

※1: 豊凶結果のみ、※2: 土砂崩れで種子、雄花の回収できず

ブナ豊凶結果 位置図

